

「自分らしい生き方を送りたい！」

「田舎暮らしに憧れている！」

という理由から、近年急増している地方移住。

2023年度、こおりやま広域圏では地方移住を見据えた方向けの「地域体験ツアー」を夏ツアー3回、秋ツアー3回の計6回開催。多くの参加者がこおりやま広域圏各エリアの魅力を体験、感じていただきました。

こおりやま広域圏内での旅を楽しみながら移住に役立つ情報入手や人との繋がりも築くことができた、秋コースの1つを紹介します。

### ① 農業と新たな出会い～心温まる地域交流を～【田村市・小野町・古殿町コース】

日程/2023年10月14日(土)～15日(日) 1泊2日

#### 1日目

9:50 郡山駅発

10:30～13:00 キックオフ・昼食・交流(テラス石森)

※昼食はキッチンカー

13:30～15:10 合同交流会・買い物(小野町民体育館ミーティングルーム・農産物直売所おのげんき)

15:30 宿舎着(田村市にて民泊・農家の暮らし体験)

#### 2日目

10:00 宿舎発

10:30～11:20 酒蔵見学(豊國酒造)

11:40～12:50 昼食(古殿町 ふるさと工房おざわふぁ～む)

13:05～13:45 買い物(道の駅おふくろ)

14:40 郡山駅着

### 体験内容

#### ○地方創生の重要拠点で地元の人やツアー参加者につながる

テラス石森は田村市におけるビジネスや学びの発信基地。廃校となった小学校を活用して作られた複合型のテレワークセンターで、新たなビジネス機会や人や企業のネットワーク構築が日々行われています。移住につながる情報がたくさん詰まったこの場所からツアーがスタート。和気あいあいとした雰囲気の中、交流会やキッチンカーでのハンバーガーのラ

ンチを楽しみました。



#### ○合同交流会で移住にまつわる様々なサポート制度を情報収集

移住に関するサポート制度を知ることができるのも地域体験ツアーならではの。続いて訪れた小野町も移住者への支援が手厚い自治体です。会場では、小野町の地域おこし協力隊員や定住コーディネーターから小野町の等身大の魅力や生活を聞くことができました。交流会後は地元の直売所でお買い物タイム。新鮮な農産物はもちろん、小野町特産のくんせいたまごやぬれ花豆が人気でした。



### ○地元の人とのふれあいが温かい等身大の民泊&農業体験

よりリアルな移住体験をしてもらうため、宿泊先はホテルや旅館ではなく民泊。地元の人と一緒に食卓を囲み、翌朝には畑仕事のお手伝い。ふつうの旅行では経験できないディープな時間は、地域体験の醍醐味となりました。

### ○伝統・格式+モダンを掲げる酒蔵で、理想の移住へのイメージを描く

2日目は古殿町で200年以上続く老舗の豊國酒造へ。地元で採れたお米を原料に、地元から湧き出した伏流水で仕込むお酒は、まさに地産地消の結晶！その一方で伝統に加えて新しいものも積極的に取り入れている姿勢は、移住者を受け入れてさらに進化しているこの地域の姿とも重なります。





### ○農家さんが手掛ける郷土食と、道の駅でのお買い物タイム

『ふるさと工房おざわふぁ〜む』は、生まれも育ちも古殿町の小澤さんが営むお店。豊國酒造の酒米もこちらで生産されているとのこと。自ら育てた旬の野菜をふんだんに使った料理や、地元につながるふるさとの味は格別でした。敷地内にヤギはもちろんクジャクまで飼っていて珍しいものに出会えました。

旅のラストに訪れる『道の駅おふくろ』では新鮮野菜はもちろん、地元の素敵なお土産を購入していました。



